

修了生は延べ164名

松岡エンジンスクール

防災用自家発電設備の施工やメンテナンスに取り組む松岡産業株式会社（松岡和人社長、名古屋市中村区、☎052-586-2111）が本社ビルに隣接するビル内に、2013年（平成25年）9月に開校した「松岡エンジンスクール（MES）」を、このほど取材した。MESは、自家発電設備を取り扱う企業、農業機械や建設機械を取り扱う企業、電力会社・関係団体などにより社会的活用が積極的に図られている。松岡社長にMESが実践する教育内容等を尋ねた――。



松岡和人・代表取締役社長

本誌 貴社が独力で松岡エンジンスクール（MES）を開校した理由は何でしょうか？

松岡社長 「団塊の世代」の大量定年退職をめぐる「2007年（平成19年）問題」が話題になりました。弊社を含めた電気工事業界でもベテラン技術者が大量に退職する機会に、施工やメンテナンスに関する技能・技術の断絶など、さまざまな問題が生じるのではないかと懸念されました。

特に東日本大震災が発生した2011年（平成23年）以降、災害対策の分野においては防災・減災設備に対する保全体制の拡充や、緊急サービス体制の刷新を図ることが急務とされています。

MESでは、優秀なベテラン技術者の高度な技能・技術を若年層を中心とする技術者へと伝承するため、「講習」と「実習」を2本柱とする「実務研修」を実践しています。それにより、防災用、非常用の各発電設備に関する高度な施工とメンテナンスの実施を目指しています。

実務に則した技術研修を通じ、受講者の現場対応力を磨くことで、緊急サービス体制の一層の強化につながれば、と期待しています。

本誌 企業・団体の人材研修の一環でMESの教育プログラムは活用されているのでしょうか？

松岡社長 2013年（平成25年）9月～2016年（平成28年）7月末時点で、延べ164名の受講修了者を輩出しています。それ以降も55名を超える受講希望者から申し込みの引き合いがあります。

MESでは、新たな国際化時代を担う技術者

の育成や技術力向上の支援を目的として、2014年（平成26年）公益社団法人農業農村工学会技術者継続教育機構のCPD法人登録者として登録し、MESが実践している技術教育も「CPD認定プログラム」として申請することができます。

弊社では、半世紀以上にわたり商用電源の停電対策用の防災用発電設備や、揚排水機場のポンプ駆動用の非常動力装置等の据付工事・保守管理といった業務に邁進して参りました。弊社が長年にわたり実務を通じて蓄積してきたノウハウを、研修を通じて受講者に伝承できれば、幸いです。

本誌 研修システムを教えてくださいませんか？

松岡社長 研修システムについては、各受講者の技術水準に応じて、全4クラス・全8コースを設定しています。研修方法については、座学による「講習」と、実技指導による「実習」の2つで構成されています。

本誌 どんなクラスがあるのでしょうか？

松岡社長 まずは、初めてエンジンの構造等を学ぶ方を対象にした「基礎クラス」として3コースを設けています。次いで、「初級クラス」として3コース。「中級クラス」として1コース。現場で実務を行っているスペシャリストの方を対象にした「上級クラス」として1コース。

さらに、上級クラスの修了者を対象にした「実践コース」として、実際に発生した不具合事例や事故事例を基にしたトラブルシュー



本社ビルと松岡エンジンスクールの看板

ティングを教えるコースがあります。中でも、優秀な成績を取めた全4クラス・全8コースの修了者を対象にした「特別コース」として、実際の建設現場の第一線で設備の据付作業や保全作業といった現場作業の経験を積む機会も提供しています。

本誌 各クラスの研修項目は？

松岡社長 基礎クラス(全3コース)では、「ディーゼル機関の構造の基礎知識」「発電機の構造の基礎知識」「ディーゼル機関の保守管理の方法」等について、座学を中心とした講習を行っています。研修期間は0.5日～4日。

初級コース(全3コース)では、「エンジン外観」「エンジン機能」「エンジン作動点検」「燃料・潤滑油・冷却水・始動空気系統点検」「シリンダーヘッド弁装置・調速装置・過給機系統点検」等について、実際のエンジンや周辺機器を利用してわかりやすく説明を行っています。研修期間は0.5日～1.5日。

中級コース(全1コース)では、「プランジャー点検測定」「始動弁・分配弁・塞止弁・減圧弁・分解点検」「カム軸点検」「デフレクション計測」等について、実務経験年数が2～3年の方向けに、エンジンや補機類の軽微な分解作業や計測等の実技を行っています。研修期間は3日。

上級コース(全1コース)では、「燃料噴射ポンプ分解点検」「接続棒点検」「クランクピンメタル計測」「歯車バックラッシュ点検計測」等について、現場経験の豊富な方向けに、長年の経験・実務から得たさまざまなノウハウを教授しています。研修期間は5日。

本誌 MESの実習の最大の特長は何ですか？

松岡社長 実習では、実際のメンテナンスの作業手順を記録した研修ビデオと、実際のエンジンや発電設備=右写真中央・下=、周辺機器



撮影協力：加島工業株式会社
モデル：満仲浩之・管理部長

=右写真上=を用いた実技指導を行っています。設備の据付・保全・管理を遂行できる能力を身に付けることを目的に、専門知識の習得や緊急時に対応できる現場力を磨くことに主眼を置いた実務教育を実践しています。

これまでに、MES専用教材として、さまざまなメンテナンスの手順を記録した研修ビデオ(1テーマ毎に約15分)を独自に順次制作しています。

研修ビデオでは、例えば「吸排気弁スキマ計測点検」の実技等、実際のメンテナンスの映像を交えながら、実務に則した主要部分の分解・清掃・計測等の作業手順を詳しく解説しています。現時点で、7項目のテーマに関する研修ビデオを制作済みです。今後、15項目までテーマを拡大して、新たに研修ビデオを制作することを計画しています。